事業評価に係るバックデータ

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B P ・ その他の別
山陰近畿自動車道	豊岡北JCT・IC ~宮津天橋立IC	∟=23.1km	地域高規格	ВР

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
7, 400	2車線	近畿地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	更新費	合 計
基 準 年		令和4		
単純合計	1,674億円	540億円	51億円	2, 265億円
基準年における 現在価値 (C)	1,770億円	221億円	9. 4億円	2,001億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計			
基 準 年		令和4	年度				
供用年	平月	平成23年、平成29年、令和9年、令和17年					
単年便益 (初年便益)	48億円	7. 5億円	1.1億円	56億円			
基準年における 現在価値(B)	2, 267億円	434億円	69億円	2,771億円			

注)「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結 果

費用便益比(B/C)	1.4
経済的純現在価値(B-C)	770億円
経済的内部収益率(EIRR)	6. 9%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	7, 400台/日	±10%	1.3~1.5
事業費	1,674億円	±10%	1.3~1.5
事業期間	41年	±20%	1.3~1.4

交通状況の変化

事業名: 豊岡北JCT・IC~宮津天橋立IC(事業全体)

(推計時点 令和12年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
		交通量**1	[台/日]	0	7, 400
①新設・改築道路 (23. 1km)	走行時間※2	[分]	0	21	
		走行時間費用※3	[億円/年]	0.00	33. 05
		交通量	[台/日]	9, 400	6, 600
	312号	走行時間	[分]	23	20
	(11.4km)	走行時間費用	[億円/年]	39. 43	24. 12
		交通量	[台/日]	11, 700	9, 500
		走行時間	[分]	27	21
	(8. 3km)	走行時間費用	[億円/年]	65. 37	35. 66
	(府) 間人	交通量	[台/日]	6, 500	5, 000
	大宮線	走行時間	[分]	7	7
	(3.5km)	走行時間費用	[億円/年]	8. 54	5. 58
		交通量	[台/日]	5, 000	2, 800
	岩滝線	走行時間	[分]	28	24
	(14. 2km)	走行時間費用	[億円/年]	24. 55	11. 12
(主)豊岡		交通量	[台/日]	8, 200	5, 700
		走行時間	[分]	23	19
		走行時間費用	[億円/年]	32. 46	17. 67
	道路合計 4.4km)	走行時間費用	[億円/年]	110, 853. 84	110, 823. 15

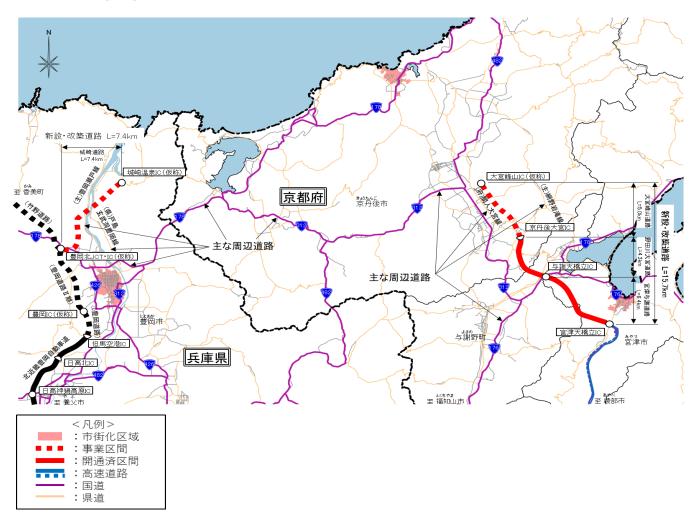
合計 · 26 875 6km 走行時間短縮便益 [億円/年]		走行時間費用	走行時間費用	走行時間短縮便益	
		整備なし(A)	整備あり(B)	(A - B)	
合計: 26,875.6km 走行	亍時間短縮便益	[億円/年]	111, 024. 19	110, 950. 35	73. 83

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。 ※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。 ※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



様式-3②

費用便益分析の条件

事業名: 豊岡北JCT·IC~宮津天橋立IC

(2)

	<u> </u>	項目	チェック欄
		費用便益分析マニュアル	_
	算出マニュアル	(令和4年2月 国土交通省 道路局 都市局)	
		その他	
		分析対象期間	50年間
5	分析の基本的事項	社会的割引率	4%
		基準年次	令和4年
	交通流の	1時点のみ推計	■(令和22年)
	推計時点	複数時点での推計	
		整備の有無それぞれで交通流を推計	
	作計の代記	整備の有無のいずれかのみ推計	□有□無
	作品 ワイヘル	いずれかのみ いずれかのみの推計とした理由を記載 の推計の場合	
		道路交通センサスをベースとした自動車OD表	■ (H27全国道路•街路
		(三段階推定法)	(FIZ/主国追姆·街姆 交通情勢調査)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表	
		(四段階推定法)	
		その他()	
交		無	•
通	分析の基本的事項 交通流の 推計の状況 推計の状況 推計に用いた OD表 開発交通 通	有	
流		考慮した開発交通量(トリップ数)	()台トリップ/日
推計		有の場合のみ考慮した理由を記載	
μ.		QーV式を用いた配分	
		転換率式を用いた配分	
		QーV式と転換率式の併用による配分	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	
		簡易手法	
		小規模事業である	
	推計手法	簡易手法の 採択理由 山間部海岸部で併行道路が少ない	
		その他()	
		簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
		その他(
		各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け	
		して設定	
		採用理由を記載	ļ ļ
	 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 		
		最終配分の速度	四半の第四に従って 目の注意を
		採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR 用。	関数の週用に併せて、取終速度を採
		その他()	

(3)

			項目	チェック欄				
		考慮しない						
		考慮する						
	仕口立体の		面的に考慮					
	休日交通の 影響		対象路線のみ考慮					
		考慮する 場合のみ	採用した休日係数	() %				
		22.00	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載					
		考慮しない						
		考慮する						
	双中放 1-1-7		採用した通行止め日数	()日				
	災害等による 通行止めの 影響	考慮する	採用した通行止め日数の考え方を記載					
	33 1	場合のみ	とり止め交通を考慮する					
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考	方え方を記載				
		考慮しない						
		考慮する		_				
			採用した冬期日数	() 日				
便	冬期交通の 影響	考慮する	採用した冬期日数の考え方を記載					
益		場合のみ	冬期の走行速度と交通容量の関係					
の算定			設定の考え方を記載					
上	交通流推計の	ブロック別・車	種別走行台キロの伸び率による設定					
	時点以外の 便益の算定	その他 ()					
		費用便益分析	fマニュアルの値を使用					
	車種別時間	独自に設定し						
	価値原単位							
		費用便益分析	ffマニュアルの値を使用					
	車種別走行	独自に設定し	た値を使用					
	経費原単位							
	交通事故減少	中央分離帯の	D有無を考慮					
	便益算定	中央分離帯の	D有無を考慮しない					
	走行時間短縮·走	考慮しない						
	行経費減少•交通	考慮する						
	事故減少以外の便 益	(考慮の場合、	算出根拠を添付すること)					
	その他							

事業名: 豊岡北JCT·IC~宮津天橋立IC

(4)

			項目	チェック欄
		詳細事業計画	画による値を採用	
	事業費	標準投資パタ	マーンを採用	
費		その他()	
用	維持管理費	維持管理費の認	と定根拠を記載	
の	推行自任其	既存の路線の	D実績を参考に設定	
算	雪寒費	積雪地域また	とは寒冷地域である	
定		考慮しない		
		考慮する		
	小八手十十十二四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二		事業費を考慮	
	当該道路整備が 行われない場合		維持管理費を考慮	
	の費用	考慮する	当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考えて	5を記載(対策内容、費用等)
	2 3.1.2	場合のみ		
	その他			
4 .	その他			

費用の現在価値算定表(事業全体)

箇所名:山陰近畿自動車道 豊岡北JCT·IC~宮津天橋立IC

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む) 単価(億円) 延長(km) 単純価値(億円)

		割戻率	GDP	車業選	(億円)	維持管理	费(倍田)	更新費	(倍田)
年次	年度	司庆平	デフレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-41年目	H 6	2.9987	114.3	0.72	1.92	1 4 5 1 1	70 12 12 12	1 101212	2012121
-40年目	H 7	2.8834	113.7	1.94	5.02				
-39年目	H 8	2.7725	113.2	5.00	12.48				
<u>−38年目</u> −37年目	H 9 H 10	2.6658 2.5633	114.2 113.6	12.63 19.63	30.05 45.14				
	H 11	2.4647	112.0	17.38	38.98				
-35年目	H 12	2.3699	110.7	19.67	42.91				
-34年目	H 13	2.2788	109.4	18.21	38.65				
-33年目	H 14	2.1911	107.6	10.32	21.41				
-32年目	H 15	2.1068	106.1	19.06	38.56				
-31年目	H 16	2.0258	105.0	37.15	73.04				
-30年目	H 17	1.9479	103.7	36.48	69.83				
<u>-29年目</u>	H 18	1.8730	103.0	40.00	74.12				
<u>−28年目</u> −27年目	H 19 H 20	1.8009 1.7317	102.1 101.6	20.26 29.55	36.41 51.31				
-26年目	H 21	1.6651	100.3	33.95	57.43				
-25年目	H 22	1.6010	98.6	13.34	22.08				
部分供用開始	H 23	1.5395	97.2	11.43	18.45	2.50	4.04		
部分1年目	H 24	1.4802	96.4	23.81	37.25	2.50	3.91		
部分2年目	H 25	1.4233	96.4	31.14	46.85	2.50	3.76		
部分3年目	H 26	1.3686	98.7	25.00	35.32	2.50	3.53		
部分4年目	H 27	1.3159	100.2	25.26	33.80	2.50	3.35		
部分5年目	H 28	1.2653	100.3	30.95	39.79	2.50	3.22		
部分供用開始	H 29	1.2167	100.5	0.93	1.15	4.73	5.83		
<u> </u>	H 30	1.1699	100.4	2.78	3.30 7.74	4.73	5.62		
<u> </u>	R 1	1.1249 1.0816	101.2 101.9	6.83 10.94	11.84	4.73 4.73	5.36 5.11		
<u> </u>	R 3	1.0400	101.9	16.00	16.64	4.73	4.92		
<u> </u>	R 4	1.0000	101.9	3.76	3.76	4.73	4.73		
部分12年目	R 5	0.9615	101.9	20.92	20.11	4.73	4.55		İ
部分13年目	R 6	0.9246	101.9	36.58	33.82	4.73	4.37		
部分14年目	R 7	0.8890	101.9	45.71	40.63	4.73	4.20		
部分15年目	R 8	0.8548	101.9	89.65	76.63	4.73	4.04		
部分供用開始	R 9	0.8219	101.9	114.04	93.73	6.28	5.16		
部分17年目	R 10	0.7903	101.9	114.55	90.53	6.28	4.97		
<u> </u>	R 11	0.7599	101.9	110.91	84.28	6.28	4.77		
<u> </u>	R 12	0.7307 0.7026	101.9 101.9	153.64 117.27	112.26 82.40	6.28 6.28	4.59 4.41		
<u> </u>	R 14	0.7026	101.9	117.27	79.23	6.28	4.41		
部分22年目	R 15	0.6496	101.9	138.18	89.76	6.28	4.23		
部分23年目	R 16	0.6246	101.9	90.91	56.78	6.28	3.92		
供用開始年次	R 17	0.6006	101.9			8.56	5.14		
1年目	R 18	0.5775	101.9			8.56	4.94		
2年目	R 19	0.5553	101.9			8.56	4.75		
3年目	R 20	0.5339	101.9			8.56	4.57		
4年目	R 21	0.5134	101.9			8.56	4.39		
5年目	R 22	0.4936	101.9			8.56	4.22		
6年目	R 23	0.4746	101.9			8.56	4.06		
7年目	R 24	0.4564	101.9			8.56	3.91		
8年目	R 25	0.4388	101.9			8.56	3.75		
9年目 10年目	R 26 R 27	0.4220 0.4057	101.9 101.9			8.56 8.56	3.61 3.47		
11年目	R 28	0.4037	101.9			8.56	3.47		
12年目	R 29	0.3751	101.9			8.56	3.21		
13年目	R 30	0.3607	101.9			8.56	3.09		
14年目	R 31	0.3468	101.9			8.56	2.97		
15年目	R 32	0.3335	101.9			8.56	2.85		
16年目	R 33	0.3207	101.9			8.56	2.74		
17年目	R 34	0.3083	101.9			8.56	2.64		
18年目	R 35	0.2965	101.9			8.56	2.54		
19年目	R 36	0.2851	101.9			8.56	2.44		ļ
20年目	R 37	0.2741	101.9			8.56	2.35		-
21年目 22年目	R 38	0.2636 0.2534	101.9 101.9			8.56 8.56	2.26 2.17		
22年日 23年目	R 40	0.2334	101.9			8.56 8.56	2.17		
24年目	R 41	0.2343	101.9			8.56	2.00		
25年目	R 42	0.2253	101.9			8.56	1.93		
26年目	R 43	0.2166	101.9			8.56	1.85	17.74	3
27年目	R 44	0.2083	101.9			8.56	1.78	5.03	1
28年目	R 45	0.2003	101.9			8.56	1.71		ļ
29年目	R 46	0.1926	101.9			8.56	1.65		
30年目	R 47	0.1852	101.9			8.56	1.58		
31年目 32年目	R 48	0.1780 0.1712	101.9 101.9			8.56 8.56	1.52 1.46	5.65	0
33年目	R 50	0.1712	101.9			8.56 8.56	1.40	4.77	0
34年目	R 51	0.1583	101.9			8.56	1.35	9.99	1
35年目	R 52	0.1522	101.9			8.56	1.30	3.96	0
36年目	R 53	0.1463	101.9			8.56	1.25	3.27	0
37年目	R 54	0.1407	101.9			8.56	1.20	0.49	0
38年目	R 55	0.1353	101.9			8.56	1.16		
39年目	R 56	0.1301	101.9			8.56	1.11		
40年目	R 57	0.1251	101.9			8.56	1.07		
41年目	R 58	0.1203	101.9			8.56	1.03		
42年目	R 59	0.1157	101.9			8.56	0.99		ļ
43年目	R 60	0.1112	101.9			8.56	0.95		-
44年目	R 61	0.1069	101.9			8.56	0.91		
45年目 46年目	R 62 R 63	0.1028 0.0989	101.9 101.9			8.56 8.56	0.88 0.85		
	R 64	0.0989	101.9			8.56 8.56	0.85		
7/ ** 🗖		0.0931	101.9			8.56	0.81		
	וא היי					5.50	0.70		
48年目 49年目	R 65 R 66	0.0879	101.9	-62.55	-5.50	8.56	0.75		l
48年目				-62.55 1611.22	-5.50 1769.89	8.56 540.39	0.75 221.47	50.90	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。) 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

様式--5

様式-5	Ē	i計 現在価値 3) 割引率4%	90.94	86.37	76.14	73.03	84.26	77.12	70.59	67.76	65.05	59.95	57.56	65.82	60.69	58.27	55.90	53.62	49.33	54.72	52.48	50.33	46.29	44.39	42.42	38 73	37.01	35.36	33.78	32.28	30.84	28.14	26.88	25.67	24.53	23.43	21.37	20.40	19.48	18.60	17.76	16.19	15.46	14.76	13.44	12.84	12.25	11.70	10.15	10.17	9.70	9.26	8.84	8.05	7.68	6.92	6.67	6.36	5.79	2,770.59
	40	便益合計 (①~③)	56.35				68.30			67.76		67.44	67.33	80.08	79.97						90.88	90.64	90.40	89.93	89.37						85.49						81.06											73.89										66.91		5,6
	事故減少便益 (億円)	現在価値 ③×(A)	1.75				2.24					1.58	1.52	1.82	1.73	1.61	1.54	1.47	1.35	1.39	1.34	1.28	1.18	1.13	1.08	1.03	0.94	0.89		0.82	0.78	0.71	0.68	0.65	0.62	0.39																0.23	0.22	0.20				0.16		
	事故洞(億	3	1.08	1.10	1.09	1.09	1.82	1.81	1.80	1.79	1.79	1.78	1.78	2.21	2.21		2.19	2.18	2.10	2.32	2.31	2.30	2.29	2.28	2.27	2.25	2.22	2.21	2.19	2.17	2.16	2.13			2.08				2.01	1.99					1.89	1.87	1.86	1.84	1.83	1.80	1.78	1.77	1.74	1.72	1.71	1.69	1.66	1.65	1.62	141.23
		現在価値 ②×(A)	12.11				14.21			11.43										8.39					6.52												3.30		3.01			2.51			2.19			1.82	1.74	1.58			1.38	,				1.00		434.46
	増	2=	7.50				11.52																		13.73																							11.48										10.47		880.34
	走行経費便益 (億円)	普通貨物					2.53						3 2.66							3.53	3.54	3.56	3.59	3.60						3.60	3.60				3.60	3.60									3.59									3.59						9 242.14
		小型貨物					1.59					3 1.40									1.25	1.28	1.25	1.23		1.21			1.18	1.1	1.16	7 1.14		1.12	1.1	1.10	1.08		1.06						0.00													4 0.84		
ZIC			9 4.94																						8.91																				7 1.21													1 6.04		9 553.4
豊岡北JCT・IC~宮津天橋立IC		現在価値 ①×(A)	7 77.0				6 67.81 8 65.16			4 54.54															7 34.82	33.2	30.3				7 25.31				20.12				8 15.98				9 12.68											9 6.59					3 4.74	4 2,267.2
图北JCT·IC	掛	\odot	2 47.77				9 54.96							3 64.18			.0 63.78						14.03			72.9	13 72.0				71.17				67.87				11 65.58						0 62.38					19 59.22			57.43		18 56.55				7 53.93	4,5
	走行時間便益(億円)	1 普通貨物					02 9.24															34 15.4																																	15.58		ľ	15.57		39 1,027.8
山陰近畿自動車道		[小型貨物	15 6.3		10 5.61		56 6.11															7	.28 7.1		7.03	90 6.9					39 6.65 18 6.0											26 5.89			55 5.73					5.36				32 5.09					34 4.73	58 438.3
箇所名:	4	乗用車類 小	96.4 34.3		/ ~							1		.9 45.32			.9 45.00				21	51	51	51	20	20	46	46		6	9 47.89				.9 45.87				.9 43.86	0					9 41.05									.9 36.32						8
	GDP IJV7		2 21		59 100.		67 100.5 99 100.4			00 101.9			48 101.9						46 101.9		75	20	34 101.9							101.	/ 8	2	7	33	101.9	11 51	36	4	37 101.9	က		_	03 101.9	10	901 101.9		46	83 101.9					03 101.9		014				79 101.9	
	割引率	€	7.8	= 4	53 1.3159		52 1.2167			1.0000			Ш	45 0.8219			Ш		59 0 6246		57 0.57	56 0.55	53 0.51	33 0.493	28 0.4746				10.4		95 0.3607	0		75 0.30	69 0.29(59 0.20	53 0.26	47 0.25	42 0.243	36 0.23	30		14 0.2003		98 0.1852			82 0.1583					49 0.1251			27 0.1069			06 0.0914 00 0.0879	
	伸び率	2) [物 全車	714 1.0208 507 0.9987	601 0.99001	66		589 0.99752 589 0.99751		78 22	575 0.99748	72	565 0.99747	Ш	_	٠.			٥١٥	407 0.99661	1.00404 0.996		300 0.996		989 0.993		989 0.99324			0.99989 0.99308	989 0.99300	٥١٥	0			989 0.992	П	ı	6	989 0.992	6	n 0	+	989 0.99214		989 0.99203			989 0.99182	199989 0.991	30			0.99989 0.99149		989 0.99133		Ш		0.99989 0.99106	11
(事業全体)	計りの年次別	(近畿内陸ブロック) 車類 小型貨物 普通貨物 全	38689 0.99 36448 0.97	0.95491 0.96601	١.		0.98530 1.00592 0.98508 1.00589		0.98482 1.00	38414 1.005			0.98306 1.00	38277 1.00559	0.9824/		0.98940 1.00						0.98841 1.00		0.99227 0.99	- 2	60				0.99183 0.999				99148 0.99989	1	0.99126 0.9998	П	0.99110 0.9998				0.99073 0.99989		0.99058 0.99989		0.99036 0.99	0.99028 0.99	ی د	, 0									0.98925 0.99 0.98918 0.99	11
	総走行台	(近) 用車類 小型	03290 0.9	1.00133 0.9	0.99874 0.9		0.99874 0.9	0.99874 0.6		0.99873 0.9			0.99873 0.9	01.0	0.99872 0.8				0.99660		99658	\ (99654 0.9	0.99213 0.9		0.99200					0.99160 0.8	1			0.99123 0.9			ш	0.99083 0.9	4	4		0.99043 0.9		0.99027	2 2	0.99004 0.8	9	98988	98972	2		0.98949 0.8	_	0.98925 0.6				0.98886 0.9	Ш
価値算え	年度	(基準年) R 4 乗月			H 27 0	H	H 30 0	H	R 3	R 4 0	2	0 ~	R 8	+	2 12	H	H	+	+	17		9 00	R 21 0	H	R 23 0	-	╁		\dashv	+	R 30	╁	Н	\dashv	+	+	R 38	+	Н	+	+	+	H	\dashv	R 4/	╁	H					+	+	H	+	+	+	R 64 0	+	Н
便益の現在価値算定表	年次		部分供用開始部分1年目	部分2年目	部分3年日部分4年日	部分5年目	部分供用網路部分7年目	部分8年目	部分3年日部分10年日	部分11年目	部分12年目報公12年日	部分14年三部分14年	部分15年目	部分供用開始 部入3.7年日	部分1/年日新公18年日	部分19年目	部分20年目	部分21年目	部分22年日期公23年日	供用開始年次	1年目	2年日3年日	4年目	5年目	6年目	7年日8年日	9年目	10年目	11年目	12年目	14年日	15年目	16年目	17年目	18年日	19年日	21年目	22年目	23年目	24年目	25年日	27年目	28年目	29年目	30年日	32年目	33年目	34年目	35年日	37年目	38年目	39年目	40年目	42年目	43年目	44年日	46年目	47年目	48年日 49年目	和

(新規事業採択時評価)

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B P・ その他の別
山陰近畿自動車道 (一般国道178号)	城崎道路	∟=7.4km	地域高規格	ВР

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
4, 700	2車線	近畿地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	更新費	숨 計
基 準 年		令和	4年度	
単純合計	1,047億円	114億円		1, 160億円
基準年における 現在価値(C)	766億円	30億円		797億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計					
基 準 年		令和	4年度						
供 用 年		令和1	令和17年度						
単年便益 (初年便益)	12億円	0.51億円	0.16億円	12億円					
基準年における 現在価値(B)	140億円	6. 2億円	1.9億円	148億円					

③ 結 果

費用便益比(B/C)	0. 2
経済的純現在価値(B-C)	-649億円
経済的内部収益率(EIRR)	-2.9%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 ______

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	4,700台/日	±10%	0. 2~0. 2
事業費	1,047億円	±10%	0. 2~0. 2
事業期間	12年	±20%	0. 2~0. 2

交通状況の変化

事業名:城崎道路(事業全体)

(推計時点 令和22年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
		交通量^{※1}	[台/日]	0	4, 700
	改築道路 4km)	走行時間 ^{※2}	[分]	0	6
		走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0. 00	5. 52
	一般国道	交通量	[台/日]	7, 100	6, 500
	178号	走行時間	[分]	35	33
	(15. 0km)	走行時間費用	[億円/年]	49. 12	41. 40
	(主)豊岡	交通量	[台/日]	8, 300	5, 700
	瀬戸線	走行時間	[分]	23	19
	(10. 7km)	走行時間費用	[億円/年]	32. 56	17. 67
–	(県)戸島 玄武洞豊岡	交通量	[台/日]	5, 400	4, 700
②主な周 辺道路 ^{※4}	線	走行時間	[分]	14	13
	(7. 7km)	走行時間費用	[億円/年]	14. 05	10. 92
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
③その他 (26,83	道路合計 4.8km)	走行時間費用	[億円/年]	110, 866. 07	110, 874. 85

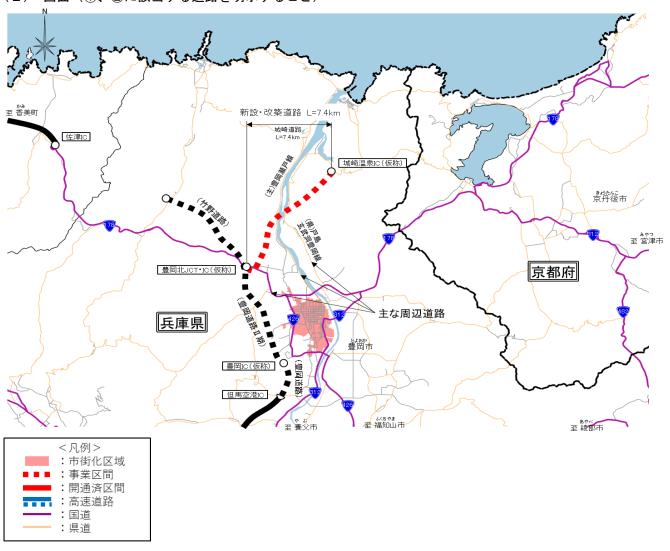
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計:26,875.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	110, 961. 79	110, 950. 35	11. 44

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。 ※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。 ※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名: 城崎道路

(2)

_	<u>/</u>		
		項目	チェック欄
		費用便益分析マニュアル	
	算出マニュアル	(令和4年2月 国土交通省 道路局 都市局)	•
		その他	
		分析対象期間	50年間
5	分析の基本的事項	社会的割引率	4%
		基準年次	令和4年
	交通流の	1時点のみ推計	■(令和22年)
	推計時点	複数時点での推計	
		整備の有無それぞれで交通流を推計	
	推計の状況	整備の有無のいずれかのみ推計	□有□無
	任前の九が	いずれかのみ いずれかのみの推計とした理由を記載 の推計の場合	
		道路交通センサスをベースとした自動車OD表	■ (H27全国道路•街路
	推計に用いた	(三段階推定法)	(M2/王国追路·街路 交通情勢調査)
	A E II C 用いた OD表	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表	
	001	(四段階推定法)	
		その他()	
交		無	
通	開発交通量の 開発交通量の	有	
流	開光文通里の 考慮	考慮した開発交通量(トリップ数)	()台トリップ/日
推計	a hex	有の場合のみ考慮した理由を記載	
		QーV式を用いた配分	
		転換率式を用いた配分	
		Q-V式と転換率式の併用による配分	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	
		簡易手法	
	配分交通量の	小規模事業である	
	推計手法	簡易手法の 採択理由 山間部海岸部で併行道路が少ない	
		その他(
		簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
		その他()	
		各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け	
		して設定	
		採用理由を記載	•
	ᆂᇠᇒᄼᇰ		
	速度設定の 考え方		
	かん刀	最終配分の速度	
		採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関 度を採用。	数の適用に併せて、最終速
		その他()	

(3)

	•		項目	チェック欄
		考慮しない		
		考慮する		
	仕口六语の		面的に考慮	
	休日交通の 影響	* + 7	対象路線のみ考慮	
	ポン 自	考慮する 場合のみ	採用した休日係数	() %
		2.2	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	Ì
		考慮しない		
		考慮する		
		つ心ノの	採用した通行止め日数	() 目
	災害等による		採用した通行止め日数の考え方を記載	L
	通行止めの 影響	考慮する		
	以音	場合のみ	とり止め交通を考慮する	
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその	考え方を記載
		考慮しない		
		考慮する		
			採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
	冬期交通の		採用した冬期日数の考え方を記載	
便	影響	考慮する		
益		場合のみ	冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
の			設定の考え方を記載	
算定				
7	交通流推計の		重種別走行台キロの伸び率による設定	
	時点以外の 便益の算定	その他	Y	
		* = = * * * *	<u>)</u>	
	本 毎015+88		<u> </u>	
	車種別時間 価値原単位	独自に設定し	Ц	
	画心水十四	PENNI 7 CVANT	, , , , ==	
		弗田庙光八		•
	 車種別走行	独自に設定し		<u>-</u>
	全型	算出婚子を添付		
	1236			
	 交通事故減少	山中分離帯(の有無を考慮	
	人 <u>歴</u> 事 は / / / / / / 使		の有無を考慮しない	
	走行時間短縮·走	考慮しない	7 Hime The Orbi	
	行経費減少•交通	考慮する		
	事故減少以外の便		算出根拠を添付すること)	
	<u>益</u>			
	その他			

事業名: 城崎道路

			項目	チェック欄					
		詳細事業計画	国による値を採用						
	事業費	標準投資パタ							
		その他()						
	維持管理費	維持管理費の影	设定根拠を記載						
	他行台往其	既存の路線の 更新費の設定板	D実績を参考に設定						
	更新費								
費用の質	一								
	雪寒費		責雪地域または寒冷地域である						
		考慮しない							
		考慮する							
算定	ツ 試送吸敷 供が		事業費を考慮						
Æ	当該道路整備が 行われない場合 の費用		維持管理費を考慮						
		考慮する	当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び	び考え方を記載(対策内容、費用等)					
	2 3.1.2	場合のみ							
	その他								
4.	その他								

費用の現在価値算定表(事業全体)

箇所名:山陰近畿自動車道(一般国道178号)城崎道路

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む

国追1/8	号)	路		単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)	l
				0.34	7.4	2.50	l
割戻率	GDP	事業費(億円)	維持管理	費(億円)	更新費	(億円)	l

<u> </u>		割戻率	GDP	事業費	(倍田)	維持管理	0.34 费(倍田)	7.4 更新費	
年次	年度	司庆午	デフレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-12年目	R 5	0.9615	101.9	0.91	0.87	一种心面间	沙江區區	一种心面间	26.14.1111111111111111111111111111111111
-11年目	R 6		101.9	13.64	12.61				
-10年目	R 7	0.8890	101.9	19.50	17.33				
-9年目	R 8		101.9	55.86	47.75				
-8年目	R 9		101.9	114.04	93.73				
-7年目	R 10		101.9	114.55	90.53				
-6年目	R 11	0.7599	101.9	110.91	84.28				
-5年目	R 12	0.7307	101.9	153.64	112.26				
-4年目	R 13	0.7026	101.9	117.27	82.40				
-3年目	R 14		101.9	117.27	79.23				
-2年目 -1年目	R 15	0.6496 0.6246	101.9 101.9	138.18 90.91	89.76 56.78				
供用開始年次	R 17	0.6006	101.9	90.91	30.76	2.27	1.37		
1年目	R 18		101.9			2.27	1.31		
2年目	R 19	0.5773	101.9			2.27	1.26		
3年目	R 20	0.5339	101.9			2.27	1.21		
4年目	R 21	0.5134	101.9			2.27	1.17		
5年目	R 22	0.4936	101.9			2.27	1.17		
6年目	R 23	0.4746	101.9			2.27	1.08		
7年目	R 24	0.4564	101.9			2.27	1.04		
8年目	R 25	0.4388	101.9			2.27	1.00		
9年目	R 26	0.4220	101.9			2.27	0.96		
10年目	R 27	0.4057	101.9			2.27	0.92		
11年目	R 28	0.3901	101.9			2.27	0.89		
12年目	R 29	0.3751	101.9			2.27	0.85		
13年目	R 30	0.3607	101.9			2.27	0.82		
14年目	R 31	0.3468	101.9			2.27	0.79		
15年目	R 32	0.3335	101.9			2.27	0.76		
16年目	R 33	0.3207	101.9			2.27	0.73		
17年目	R 34	0.3083	101.9			2.27	0.70		
18年目	R 35	0.2965	101.9			2.27	0.67		
19年目 20年目	R 36	0.2851 0.2741	101.9 101.9			2.27 2.27	0.65 0.62		
20年日 21年目	R 37	0.2741	101.9			2.27	0.62		
22年目	R 39	0.2534	101.9			2.27	0.58		
23年目	R 40		101.9			2.27	0.55		
24年目	R 41	0.2343	101.9			2.27	0.53		
25年目	R 42	0.2253	101.9			2.27	0.51		
26年目	R 43	0.2166	101.9			2.27	0.49		
27年目	R 44	0.2083	101.9			2.27	0.47		
28年目	R 45	0.2003	101.9			2.27	0.46		
29年目	R 46		101.9			2.27	0.44		
30年目	R 47	0.1852	101.9			2.27	0.42		
31年目	R 48		101.9			2.27	0.40		
32年目	R 49	0.1712	101.9			2.27	0.39		
33年目	R 50		101.9			2.27	0.37		
34年目 35年目	R 51	0.1583 0.1522	101.9 101.9			2.27 2.27	0.36 0.35		
36年目	R 53	0.1322	101.9			2.27	0.33		
37年目	R 54	0.1403	101.9			2.27	0.32		
38年目	R 55		101.9			2.27	0.32		
39年目	R 56		101.9			2.27	0.30		
40年目	R 57	0.1251	101.9			2.27	0.28		
41年目	R 58	0.1203	101.9			2.27	0.27		
42年目	R 59	0.1157	101.9			2.27	0.26		
43年目	R 60	0.1112	101.9			2.27	0.25		
44年目	R 61	0.1069	101.9			2.27	0.24		
45年目	R 62	0.1028	101.9			2.27	0.23		
46年目	R 63		101.9			2.27	0.22		
47年目	R 64	0.0951	101.9			2.27	0.22		
48年目	R 65		101.9	10.07	1 10	2.27	0.21		
49年目	R 66	0.0879	101.9	-13.37	-1.18	2.27	0.20		
合 計				1033.30	766.35	113.64	30.48		
単純事業費計				1046.67		113.64			

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

(本工)	# ()	現在価値割引率4%	7.42	7.11	0.81	6.24	5.97	5.70	5.44	5.19	4.96	4.73	4.52	4.31	3 0.0	3.74	3.57	3.41	3.25	3.10	2.96	2.82	2.69	2.56	2.45	2.33	2.22	20.2	1.93	1.84	1.75	1.67	1.59	1.51	1.37	1.31	1.25	1.19	1.13	1.08	000	0.98	0.93	0.85	0.81	0.77	0.73	148.22
	合 □ (億円)	便益合計 3	12.36	12.31	12.20	12.20	12.10	12.01	11.93	11.84	11.75	11.66	11.57	11.49	11.40	11 22	11 14	11.05	10.96	10.87	10.79	10.70	10.01	10.52	10.44	10.35	10.26	10.01	10.00	9.91	9.83	9.74	9.65	9.57	9.39	9.31	9.22	9.14	9.05	8.97	0.09	8.80	8.64	8.55	8.47	8.39	8.31	519.53
	少便益 ^{五)}	現在価値③×(4)	0.10	0.00	0.09	0.00	0.08	0.07	0.07	0.07	90.0	90'0	0.00	0.06	0.03	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.00	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.01	0.01	0.01	0.01	1.94
	事故減少便益 (億円)	@		0.16	0.10	0.0	0.16	0.16	0.16	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.13	0.0	0.15	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	4 0.14	0.13	0.0	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.11	0.11	0.11	0.11	6.82
		現在価値 ②×(4)	Ó	0.29											0.17							0.12									0.07	0.07	0.07	0.00	90.0	0.05	0.05	0.05	0.02	0.05	0.04					0.03		6.17
	相	+ <u>₹</u> (€)	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.50	0.50	0.49	0.49	0.49	0.48	0.48	0.40	0.47	0.47	0.46	0.46	0.45	0.45	0.45	0.44	0.44	0.44	0.43	0.43	0.42	0.42	0.41	0.41	0.41	0.40	0.40	0.39	0.39	0.38	0.38	0.38	0.37	76.0	0.50	0.00	0.36	0.35	0.35	0.35	21.67
	走行経費減少便益 (億円)	# 通過	į		0.0									0.11		0 0	0 0	0.11				0.11					0.0		0.11						0.11						0.0							5.70
	走	小型貨物	1				-0.18							-0.18		-0.17				-0.17		-0.16					-0.10		-0.15				-0.15		-0.14						-0.13						-0.12	
		東田		0.59			0.58						0.55	0.54	0.34	0.53			0.51	0.51		0.50		0.49					0.45					0.43			0.41	0.41	0.40		0.39	20.0	0.38	0.37		0.36	0.36	23.87
城崎道路		現在価値 ①×(A)	7.02	6.72	6.44	5.90	5.65	5.39	5.14	4.91	4.69	4.47		4.07	3.09	3.54	88.8	3.22	3.07	2.93		2.67					2.10		1.82		1.65	1.58	1.50	1.43	1,30	1.24	1.18	1.12	1.07	1.02	0.97	26.0	0.80	0.80			69.0	140.11
国道178号)	相	#	Ξ.	11.64	11.59	11 49	11.44	11.35	11.27	11.19	11.11	11.02	10.94	10.86		10.03									9.86	9.78	9.70		9.45			9.20	9.12		8.88	8.80	8.72	8.64	8.56	8.48	0.40	8.32	8 16	80.8	8.00	7.93	7.85	491.04
動車道(一般	走行時間短縮便益 (億円)	神庙仙梦		1.72	1.72		1.74		1.74	1.74	1.74	1.74				1 74						1.74			1.74		1.74		1.74		1		1.74	1.74		1.74	1.74	1.74	1.73	1.73		1.73	1 73		1.73	1.73		86.82
山陰近畿自	走	小型貨物	2.36	2.33	05.2	2.20	2.23	2.21	2.19	2.18	2.16	2.14	2.13	2.11	50.2	2.0.2	20.2	2.02	2.01	1.99	1.97	1	_		1		1.87		,	-	1	l l	1.75	1.74	1.71	1.69	1	ļ	1.64	1.62	1.0.1	1.50	15.6	1.54	1.53	-	-	92
箇所名:		聚里田垂			7.50		7.47	7.40	7.34		7.21			7.01	0.94						6.48	6.42					60.9		5.89				5.63	5.57		5.37			5.18			4.99						309.13
	GDP デフレータ	•			101.9		101.9		101.9		101.9	101.9	101.9	101.9							101.9	101.9					101.9					101.9	101.9	101.9	101.9	101.9	101.9	101.9	101.9	101.9	101.9	101.9			101.9		101.9	
	割引率		0.6006	0.5775	0.5553	0.5134	0.4936	0.4746	0.4564	0.4388	0.4220	0.4057		0.3751	0.3607	0.3400			0.2965	0.2851	0.2741	0.2636	0.2534	0.2437	0.2343		0.2166		0.1926	0.1852	0.1780	0.1712		0.1583	0.1463	0.1407	0.1353	0.1301	0.1251	0.1203	0.1137	0.1112	0.1009	0.0989	0.0951		0.0879	
	び率	- 本 車		4	0.99029		L	L	Ц	7 0.99315	7 0.99311	\perp		_	0.99291	Ļ	Ļ	Ļ			7 0.99254				4	4	7 0.99220	Ļ	┸		_	7 0.99187	_	7 0.99176	╙	Ц	Ц		_	7 0.99138	Ļ	Ļ	Ļ	Ļ	Ш	_	7 0.99094	
(事業全体)	ロの年次別伸	(近畿臨海ブロック) 類 小型音物 普通音物 ・		4	365 1.00362 352 1.00361	┸		L	231 0.99987	Ц	219 0.99987			0.99987	⊥	1					46 0.99987				Ш		0.99987	Ļ			Ш	Ц	4	0.99987				_	┙	1	700000	1	L				336 0.99987	
_	総走行台和	(近畿臨)		1	0.99587 0.98865	L			0.99104 0.99231	0.99095 0.99225	7		_	0.99062 0.99200	0.99033 0.99194	1	L				Ш		_	_	1	1	0.98922 0.99101					Ш	_	0.98841 0.99043	↓	Ц	Щ		_	0.98770 0.98993	0.90760 0.90900	1) C	L			0.98690 0.98936	-
価値算点	年度	(基準年) R 4 垂田車類	Ŕ	+	0.95 0.95 0.95	+	+			Н	R 26 0.9908			R 29 0.99	+	25 O O O O	╁					R 38 0.98	-			+	R 43 0.98	+	R 46 0.98			Н	+		R 53 0.98821	H			_		0.90	+	+	+	64	4	R 66 0.98	_
便益の現在価値算定表		年次 田田	丰次	1年目 8年日 1	Ī	Ī	5年目 R							12年目 R	T	T	T	17年目 R						23年目 R		T	20年日 区	Ī	29年目 R						36年目 R	П					1247H	T	Ī	46年目 R				фп Т

			<u> </u>
路線名	箇所名	車線数	延長
山陰近畿自動車道 (一般国道178号)	城崎道路	2	7.4km

■事業費内訳

■尹未貞	ξ P J μ/ \					
区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					97,243	
	改良費		式	1	7,653	
		土工	m³	258,654	517	切土(3.8万m3)、盛土(22.0万m3)
		地盤改良工	式	1	2,033	
		法面工	m³	64,874	122	切土法面、盛土法面、特殊法面工
		擁壁工	式	1	212	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		函渠工	m	112	135	
		排水工	式	1	1,956	
		雑工	式	1	2,678	工事用道路、調整池、仮設工等
	橋梁費		m	2,350	46,476	
		100m以上	m	2,350	46,476	連続高架橋2橋
	トンネル費		m	3,947	31,069	
		NATM	m	3,947	31,069	3本(上下線)
	IC・JCT費		箇所	1	1,182	
		IC	箇所	1	1,182	ハーフIC(1箇所)
	舗装費		m³	103,995	3,085	
		車道舗装	m³	56,493	621	
		トンネル舗装	m³	47,502	2,464	
	付帯施設	費	式	1	7,778	
		交通管理施設工	式	1	7,778	標識工、中央分離帯工、防護柵工、照明工、区画線工等
②用地及補	償費		式	1	1,385	
	用地費		m³	136,863	1,337	
		宅地	m³	1,753	56	
		田畑	m³	90,992	1,219	
		山林·原野	m³	44,118	62	
	補償費			1	48	
③間接経費	Ì		式	1	16,372	地質調査、測量、設計にかかる費用等
事業費合計	-				115,000	

【単価等について】

- 〇工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用する
- 〇用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事第 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長					
一般国道178 号	城崎道路	2	7.4km					

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	7.4	4,200	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	8,300	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			12,500	

【単価等について】

〇維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。